

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】令和3年4月15日(2021.4.15)

【公開番号】特開2019-151251(P2019-151251A)
 【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)
 【年通号数】公開・登録公報2019-037
 【出願番号】特願2018-38554(P2018-38554)
 【国際特許分類】

B 6 0 N 2/90 (2018.01)

B 6 0 N 2/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/90

B 6 0 N 2/04

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月5日(2021.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートクッションおよびシートバックを有するシート本体と、

前記シート本体に座っている着座者からの圧力値を取得する複数のセンサであって、前記シートクッションにおける前記着座者の臀部に対応する位置に配置された第1クッションセンサと、前記シートクッションにおける第1クッションセンサよりも前に位置する第2クッションセンサと、前記シートバックにおける下部に配置された第1バックセンサと、前記シートバックにおける前記第1バックセンサよりも上に配置された第2バックセンサとを含むセンサと、

複数の前記センサのそれぞれから前記圧力値を取得可能に前記センサと接続された制御部とを備えるシートであって、

前記制御部は、基準姿勢のときの各前記圧力値に対して、

前記第1クッションセンサの圧力値が大きくなり、前記第2クッションセンサの圧力値が小さくなった場合に、踵上げの動作がなされたと判定することを特徴とするシート。

【請求項2】

シートクッションおよびシートバックを有するシート本体と、

前記シート本体に座っている着座者からの圧力値を取得する複数のセンサであって、前記シートクッションにおける前記着座者の臀部に対応する位置に配置された第1クッションセンサと、前記シートクッションにおける第1クッションセンサよりも前に位置する第2クッションセンサと、前記シートバックにおける下部に配置された第1バックセンサと、前記シートバックにおける前記第1バックセンサよりも上に配置された第2バックセンサとを含むセンサと、

複数の前記センサのそれぞれから前記圧力値を取得可能に前記センサと接続された制御部とを備えるシートであって、

前記制御部は、基準姿勢のときの各前記圧力値に対して、

前記第1クッションセンサおよび前記第1バックセンサの圧力値が大きくなり、前記第2クッションセンサの圧力値が小さくなった場合に、足上げの動作がなされたと判定することを特徴とするシート。

【請求項3】

シートクッションおよびシートバックを有するシート本体と、

前記シート本体に座っている着座者からの圧力値を取得する複数のセンサであって、前記シートクッションにおける前記着座者の臀部に対応する位置に配置された第1クッションセンサと、前記シートクッションにおける第1クッションセンサよりも前に位置する第2クッションセンサと、前記シートバックにおける下部に配置された第1バックセンサと、前記シートバックにおける前記第1バックセンサよりも上に配置された第2バックセンサとを含むセンサと、

複数の前記センサのそれぞれから前記圧力値を取得可能に前記センサと接続された制御部とを備えるシートであって、

前記制御部は、基準姿勢のときの各前記圧力値に対して、

前記第1クッションセンサの圧力値が大きくなり、前記第1バックセンサの圧力値が小さくなった場合に、背筋伸ばしの動作がなされたと判定することを特徴とするシート。

【請求項4】

シートクッションおよびシートバックを有するシート本体と、

前記シート本体に座っている着座者からの圧力値を取得する複数のセンサであって、前記シートクッションにおける前記着座者の臀部に対応する位置に配置された第1クッションセンサと、前記シートクッションにおける第1クッションセンサよりも前に位置する第2クッションセンサと、前記シートバックにおける下部に配置された第1バックセンサと、前記シートバックにおける前記第1バックセンサよりも上に配置された第2バックセンサとを含むセンサと、

複数の前記センサのそれぞれから前記圧力値を取得可能に前記センサと接続された制御部とを備えるシートであって、

前記制御部は、基準姿勢のときの各前記圧力値に対して、

前記第1クッションセンサおよび前記第2バックセンサの圧力値が大きくなり、第1バックセンサの圧力値が小さくなった場合に、シートバックに肩甲骨を押し付ける動作がなされたと判定することを特徴とするシート。

【請求項5】

シートクッションおよびシートバックを有するシート本体と、

前記シート本体に座っている着座者からの圧力値を取得する複数のセンサであって、前記シートクッションにおける前記着座者の臀部に対応する位置に配置された第1クッションセンサと、前記シートクッションにおける第1クッションセンサよりも前に位置する第2クッションセンサと、前記シートバックにおける下部に配置された第1バックセンサと、前記シートバックにおける前記第1バックセンサよりも上に配置された第2バックセンサとを含むセンサと、

複数の前記センサのそれぞれから前記圧力値を取得可能に前記センサと接続された制御部とを備えるシートであって、

前記第1バックセンサは、少なくとも1つの右の第1バックセンサと、少なくとも1つの左の第1バックセンサとを含み、

前記第1クッションセンサは、少なくとも1つの右の第1クッションセンサと、少なくとも1つの左の第1クッションセンサとを含み、

前記第2バックセンサは、少なくとも1つの右の第2バックセンサと、少なくとも1つの左の第2バックセンサとを含み、

前記制御部は、基準姿勢のときの各前記圧力値に対して、

右の前記第1クッションセンサおよび右の前記第1バックセンサの圧力値が大きくなり、左の前記第1バックセンサおよび左の前記第2バックセンサの圧力値が小さくなった場合に、上体を右に回す動作がなされたと判定し、

左の前記第1クッションセンサおよび左の前記第1バックセンサの圧力値が大きくなり、右の前記第1バックセンサおよび右の前記第2バックセンサの圧力値が小さくなった場合に、上体を左に回す動作がなされたと判定することを特徴とするシート。

【請求項 6】

前記第 2 バックセンサは、前記シートクッションの座面から、前記シートバックの座面に沿って 3 0 0 m m 上方の位置よりも上に位置することを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載のシート。

【請求項 7】

前記第 2 クッションセンサは、前記シートバックの座面から、前記シートクッションの座面に沿って 2 8 0 m m 前方の位置よりも前に位置することを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載のシート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図15】

